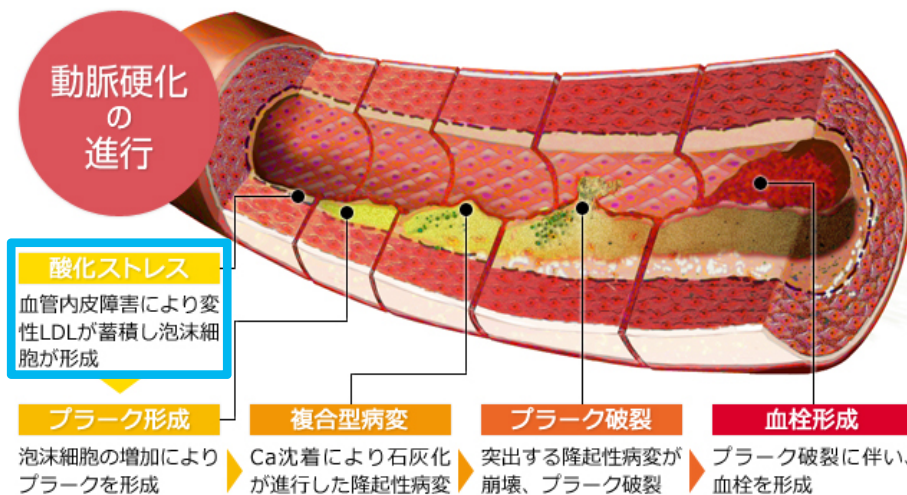


# 脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査のご紹介

## このような方にお勧めです

- **血縁家族に脳梗塞・心筋梗塞にかかった人がいらっしゃる方**
- **高血圧、脂質異常症、糖尿病にかかっており、動脈硬化が気になる方**
- **40歳以上の方**



(ロックス・インデックス)  
**LOX-index**は、  
動脈硬化の進行から  
将来の脳梗塞、  
心筋梗塞の発症までを  
予測できる  
**新しい血液検査**です。

## 他の動脈硬化を調べる検査との違いは？

頸動脈エコーや血管の硬さ・詰まりを調べる検査で異常が出た場合は、すでに動脈硬化が進行しているため、予防へのアプローチが遅くなってしまいます。ロックスインデックスでは、血管が痛む危険性を調べ、より早い段階での動脈硬化の進行リスクを調べる事が可能でございます。

## ロックスインデックス(LOX-index) とは

ロックスインデックスは、血液中の酸化変性LDLとsLOX-1を検査することで将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価する血液検査です。検査結果で脳梗塞・心筋梗塞のリスクが高ければ予防対策を取って、早い段階からリスクを回避していただけます。

- 採血だけの簡単な検査
- 健診・人間ドックのオプション検査として受診可能
- 検査価格：12,000円(税別)

## ① LAB(変性LDL)とは？

ストレスやタバコなどの影響で発生した体内の活性酸素などによって酸化し、さびついたLDL(悪玉コレステロール)です。研究ではこれまで動脈硬化の原因と言われてきたLDLは動脈硬化の本当の原因ではなく、LABが動脈硬化を引き起こしている主要な原因物質であると考えられています。

## ② LOX-1(sLOX-1)とは？

LOX-1とは血管内にあるタンパクの1種で、酸化変性LDLの受け皿です。LOX-1と酸化変性LDLは、結合することで動脈硬化を進行してしまうことがわかっております。その内の一部が血管の壁から切り離され、血液中に出てきたものをsLOX-1と呼んでいます。

## ③ どのくらいの頻度で受診すべきか？

通常健康診断・人間ドックと同じく、年1回の検査をお勧めしております。

## ④ 脳ドックとは何が違うの？

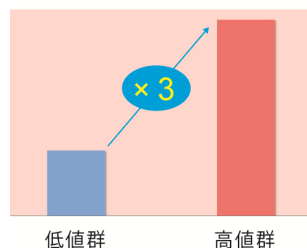
脳ドックは画像検査なので、動脈硬化が進行しないと脳梗塞を見つけられません。LOX-indexでは動脈硬化が進行する前の段階で脳梗塞のリスクを調べることができます。

## ロックスインデックスが高い方は

動脈硬化が進行すると、脳梗塞・心筋梗塞が将来的に発症するリスクが高まります。酸化変性LDL、LOX-1の増加を促してしまう要因として、生活習慣(喫煙、過食、過度の飲酒等)、ストレス、運動不足等があります。ロックスインデックスが高い方は、今からでも予防対策を始めましょう。

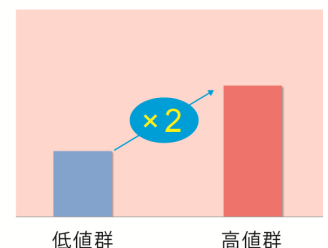
＜脳梗塞発症率との関係＞

LOX-index 値が高いと  
発症率が3倍



＜心筋梗塞発症率との関係＞

LOX-index 値が高いと  
発症率が2倍



引用: Clinical Chemistry 2010; v.56, p.550-558.

- ※ 当検査は、研究検査項目になるため診断目的で使用頂くことは出来ません。
- ※ 妊娠中、出産後、風邪をひかれている場合は、検査数値が高く出る可能性がございます。
- ※ コレステロールを下げるお薬を服用されている方は、検査数値が低く出る可能性がございます。
- ※ 食事制限などは無く、午後にご受診頂くことも可能でございます。

## ご予約に関するお問い合わせ

医療法人 北斗会  
宇都宮東病院  
健診センター

☎028-683-5771